

読んで知ろう!
住んでいるまちの
議会情報!

The市議会

ザシギカイ

Vol.62

2021.5

新年度予算 …… 2

委員会レポート …… 6

一般質問 …… 8

議決結果 …… 15



市議会フェイスブック



市議会ホームページ



殿町児童公園のSL

「活力と笑顔あふれるまち」

令和3年度一般会計予算総額は、292億円で前年度と比べて1.5%、4億5100万円の減額となりました。予算審査に当たっては、22の事業を抽出し、各分科会では事業を中心に審査を行い、分科会審査終了後の委員会では、賛成多数で可決されました。

山陽消防署植生出張所の建て替えに着手

【山陽消防署植生出張所整備事業】

- 昭和56年に建設された植生出張所は老朽化が著しく、また非常に狭く雨漏り等により防災施設としての機能低下を招いているため、現在の植生出張所南側に隣接する約1600㎡の用地をかさ上げ造成し、新たに建設します。
- 今後のスケジュールは、
令和3年度：基本設計、造成設計
令和4年度：実施設計、造成工事等
令和5・6年度：建設
令和7年度：既存施設の解体等を予定しています。

予算額 1701万7000円

- 建て替えに伴う建設財源の確保のため、基金を設置し令和3・4年度で積み立てを行います。
- 資金は、石油貯蔵施設立地対策等交付金で、令和3年度は7415万5000円、令和4年度は1億円を積み立てます。



現在の植生出張所

主な質疑

- Q** どう検討して建て替え場所を選んだのか。
- A** 4カ所の候補に絞り、出動体制、防災施設としての適地性、用地取得等の観点から調査・検討した結果、現在の植生出張所南側を選定した。
- Q** 津波や高潮発生時の退去マニュアルはあるのか。
- A** 出動車両等の一時待機場所として、小野田消防署は小野田霊園、植生出張所はオートレース場を計画している。

- Q** 建て替え後は、出張所の機能はどう強化されるのか。
- A** 現在は、消防車か救急車のどちらか一隊しか出動できないが、消防職員を増員し、二隊の同時出動が可能となる。また、消防団員の指導および多種多様な訓練も可能となる。

の実現に向けて



医療費の負担なしに

【子ども医療費助成拡充事業】

- 現在2割としている市の助成を3割に拡充します。これにより医療費の自己負担なしとなります。
- 小学1年生から中学3年生までの児童生徒が対象です。
- 一定の所得制限を設けています。
- 令和3年8月から助成割合を拡充します。

予算額 600万円（拡充に伴う経費）



主な質疑

- Q** 今回の拡充により、県内で何番目ぐらいになるのか。
- A** 単純な比較は難しいが、県内では中学校卒業まで所得制限を設けていない市町が一番多い。本市はまだ拡充の余地があると思う。
- Q** 中学3年生まで所得制限を設けていない市町はどれくらいあるのか。
- A** 県内19市町のうち9市町である。
- Q** 今後の予定はどうか。
- A** 対象者には7月上旬に制度のお知らせと新しい受給者証を送る予定である。

専属のDV相談員を設置

【DV相談員設置事業】

- 専属の相談員を設置することで、複雑多様化する配偶者等からの暴力被害に対し、迅速かつ適切な対応を図ります。
- 証明書の交付申請の受理と交付に至るまでの経由事務を取り扱うことが可能となり、相談者の負担軽減につながります。
- 県内13市のうち8市が設置済みです。

予算額 281万5000円



主な質疑

- Q** 資格を持った人が対応するのか。
- A** 社会的信望があり、職務を行うのに必要な熱意と識見を有する者を委嘱できるとしている。法的な資格が必要なわけではない。
- Q** 年齢などの要件はあるのか。
- A** 年齢要件は特にない。
- Q** 相談を受けるため、こちらから出向くことはないのか。
- A** 体制が取れるようになれば、山陽総合事務所での出張相談などを検討したい。

厚狭駅南部地区の住宅取得を支援します

【厚狭駅南部地区定住奨励金事業】

- 厚狭駅南部地区まちづくり基本計画に基づき、モデル地区内に定住する意思を持って住宅を取得した人に定住奨励金を交付するものです。
- 期間は令和3年4月1日から令和8年3月31日までの5年間で、1件あたり20万円の交付となり、5件を予定しています。
- 他自治体から転入の場合、転入奨励金（固定資産税相当額を5年補助）も併せて受けることができます。

予算額 100万円



厚狭駅南部地区

主な質疑

- Q** この地区内で住宅取得を何件予定しているのか。
- A** 160平方メートルで換算すると約200世帯となる。
- Q** どのようなPR手法を取るのか。
- A** チラシやホームページ、不動産業者やハウスメーカーを通じて行う。
- Q** 市内からの転居も対象となるのか。
- A** 対象となる。
- Q** 住宅取得が5件を超えた場合はどうなるのか。
- A** 補正予算で対応する。

ハザードマップで危険区域を明確に

【ハザードマップ整備事業】

- 山口県が行う厚狭川と有帆川の浸水想定区域の見直しに併せ、市がハザードマップを作成するものです。
- 令和3年度は厚狭川ハザードマップの作成と印刷を予定しています。
- 有帆川ハザードマップは見直しが完了し、令和3年度に配布を予定しています。

予算額 800万円



有帆川

主な質疑

- Q** 市町村が想定する最大規模の降雨量はどのくらいか。
- A** 1000年確率ではあるが、厚狭川は48時間で552ミリ、有帆川は24時間で498ミリを想定している。
- Q** 降雨の想定時間が有帆川と厚狭川で異なっている理由は何か。
- A** 厚狭川のほうが流域面積が広く、水の流れに時間が掛かるためである。
- Q** それぞれの配布部数は何部か。
- A** 厚狭川は1万部、有帆川は1万7000部を予定している。
- Q** 高潮ハザードマップについて作成の考えはあるか。
- A** 令和4年度に順次整備する予定である。

会計年度任用職員の任用形態を維持 全会一致で予算の組み替えを可決

今回の一般会計予算決算常任委員会で議論が集中したのは、会計年度任用職員の勤務時間短縮の問題です。令和2年度に今までの臨時職員から会計年度任用職員に任用形態を変更し、給与が引き上げられました。

しかし、令和3年度予算では、勤務時間を30分短縮し、パートタイムとする予算が提案されました。

主な質疑

- Q** 勤務時間が短くなるが、職場で問題は生じないか。
- A** 所属長への聞き取りの結果、勤務時間を短くしても対応できるとなった。
- Q** 他の自治体では令和2年度からパートタイム化していたが、本市はフルタイムであった。どういう検討をしたのか。
- A** 令和2年度にフルタイムとせず、パートタイムとすべきだった。

このような議論を受け、パートタイム化を前提とした予算を元に戻すよう予算の組み替え動議が委員から提出され、採決の結果、全会一致で可決しました。

この可決を受け、執行部から「補正予算で対応したい」との申し出があり、補正予算を審査するため、会期を1日延長しました。

委員会で審査を行い、採決の結果、令和2年度と同様に会計年度任用職員をフルタイムとする補正予算を全会一致で可決しました。



←議場

議会基本条例の検証、見直しをしました

議会では、議会基本条例の目的が達成されているかどうか、その検証を議会運営委員会において行いました。

全議員による「議会基本条例の議員自己評価表」を集計し、それを基に委員で13回の協議を重ね、検証シートにまとめました。

協議の中で「災害時の議会対応について条文を加えるべき」、「検証は2年ごとが適当なのか」、「検証も必要だが研修をもっと増やすべき」等の意見が出されました。

その結果、

- ①危機対応について新たに条文を加える。
- ②本条例の検証時期と議員研修会の回数について見直す。

とした条例改正案を提案し、3月議会で可決しました。

(危機対応)

第31条 議会は、災害等緊急事態が発生し、又は発生するおそれが高いときは、危機対応組織を設置して、その影響を最小限にとどめるとともに、被害の迅速な回復を図るよう努めます。

(条例の見直し等)

第35条 議会は、一般選挙を経た任期開始の日から起算して2年経過したときは、速やかに議会運営委員会において、この条例の目的が達成されているかどうかについて検証します。

2 (略)

3 議会は、一般選挙を経た任期開始の日後速やかに、及びその日から2年を経過する日前にそれぞれ、この条例に関する研修を行います。

議会基本条例改正箇所

地域外来・検査センターを引き続き設置

●地域外来・検査センター設置事業

概要 新型コロナウイルス感染症を検査する地域外来・検査センター設置事業は、発熱症状などがあり、検査が必要となった人を迅速に検査するために設置・運営するものです。

検査を受けるためには、かかりつけ医に相談し、検体を採取する登録医療機関を紹介してもらい、検査を予約します。その後、検体採取・検査機関へ検体を配送し検査を行います。

検査結果は、陰性の場合、登録医療機関から連絡があります。陽性の場合、地域外来・検査センターから連絡があり、その後、宇部健康福祉センターから入院先等の連絡があります。

予算額 8617万8000円

主な質疑

- Q** 検体を採取する登録医療機関が、目標37カ所に対して15カ所なのはなぜか。
- A** 各医療機関の受入体制によるものである。
- Q** 受付時間が短いように思うが、時間外の対応はどうなるのか。
- A** 協力医療機関の診療時間に合わせた対応である。



患者の増加を見込み体制強化

●3年度病院事業会計予算

概要 入院患者数を1日平均180人、外来患者数を1日平均380人と見込み、病院事業収益は43億625万8000円、病院事業費用は47億2152万6000円となり、税処理後3億1087万4000円の単年度純損失と見込んでいます。



主な質疑

- Q** 令和3年度に医師は増えるのか。
- A** 内科と泌尿器科の常勤医師が増える。また、事務職員も2人増える予定で、そのうちの1人は経営企画担当である。
- Q** 地域包括ケア病棟導入により、入院単価が上がるのか。
- A** 診療報酬上の優遇措置で高くなる。
- Q** 企業内保育所の定員は25名であるが、利用状況はどうか。
- A** 現状は、院内の職員の子供利用者10人、院外の子供利用者が2人で合わせて12人となっている。
- Q** 会計年度任用職員のパートタイムへの切り替えはあるのか。
- A** 本人が希望する場合を除き、切り替える予定はない。

結果 全員賛成

過去 10 年間で最高の売り上げへ

● 3 年度オート事業会計予算

概要 予算総額は、歳入歳出とも 219 億 2370 万 9000 円で、前年度予算と比べて 43.3%、66 億 2568 万 2000 円の増となっています。

主な質疑

Q ミッドナイトレースの売り上げが好調であることから、賞金増額の要望が選手から挙がっていると聞いているが、検討はされているか。

A ミッドナイトレースについては、令和 3 年度から出場手当を 1 日 2000 円増額することで業界決定している。

Q 重勝式の成立件数はどうか。

A 3 月 14 日時点で、ミニが 4049 回、メガが 43 回、ギガが 0 回、合計 4092 回となっている。

Q レース映像利用料収入の内容はどうか。

A 山陽オートが提供するレース映像を民間ポータル会社が使用する利用料である。民間ポータル会社が、独自のウェブサービス、スマートフォンなどのアプリの中でレース放送を行うことにより、さらなる売上向上を図る。

Q 燃料費が約 100 万円減額になっているのはなぜか。

A ミッドナイトレースに係る照明機器の操作に慣れ、照明の点灯時間を減らし、節電ができたためである。

結果 全員賛成



←オートレース場

地方卸売市場の活動が停止

● 地方卸売市場条例を廃止する条例の制定

概要 小野田中央青果の破産により、山陽小野田市地方卸売市場の活動を停止し、市は開設者としての業務を民間事業者へ移行することにしました。これに伴い、条例を廃止するものです。



閉鎖された地方卸売市場

主な質疑

Q 4 月 1 日以降、市場はどうなるのか。

A 当面、閉場することになるが、市としては継続したいと考えている。地方卸売市場の認定を取った業者がいれば、運営してほしい。業者がいなかった場合は閉場となる。

Q 令和 2 年度分の小野田中央青果の使用料や電気代の未収金はどうか。

A 保証金 30 万円を預かっており、それを未収金に充てる。

Q 保証金の充当、返還に関する経過措置を条例に加えるべきと思うがどうか。

Q 保証金に係る経過措置を条例に入れなくても支障は来さないか。

Q 小野田中央青果の保証金 30 万円について、破産管財人と話しているか。

A 破産管財人とは文書でやり取りしている。

結果 全員賛成

森山喜久議員



フルタイム任用を維持すべき

【今回の一般質問】
・非正規職員の任用変更
・ヒアリングを人事に反映

会計年度任用職員

Q 非正規職員である会計年度任用職員を令和3年度にフルタイムからパートタイムになぜ任用変更するのか。

A 市の行政運営は効率的、効果的な運営が求められている。会計年度任用職員の勤務時間も検討する中でヒアリングを行い、1日30分の短縮が可能であると判断し変更した。

Q 令和元年9月議会当時、フルタイム132人、パートタイム81人が、令和2年12月議会時点でフルタイム163人、パートタイム88人となり、30人以上増えているが、30分の時間短縮が可能なのか。

A 正規職員の休職等で業務が増え、令和2年度は緊急的な雇用も含めて人数を増やした。検討した結果、令和3年度は可能であると判断した。

正規職員も時間外が増えている

Q 正規職員の時間外労働は、月45時間超が平成29年度は延べ163人、平成30年度220人、令和元年度395人と年々増加している。30分短縮のしわ寄せはどこに行くのか。正規職員ではないのか。本当に対応できるのか。

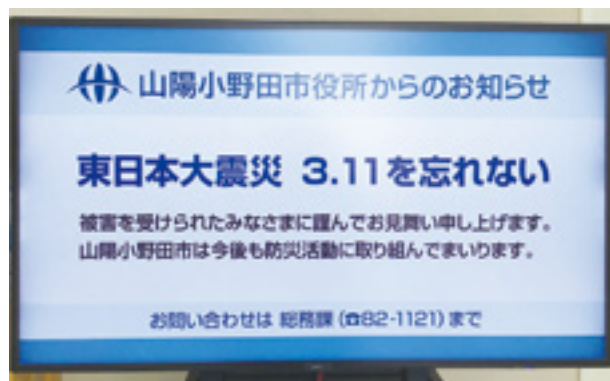
A 時間外の人数が増えているのは承知している。各職場で業務の効率化等も検討し、職務分担等を見直しながらパートタイム化を導入する。

【全般】追加

問1-17 パートタイム会計年度任用職員として任用することを目的に、例えば、週5日勤務の職について一日あたりの勤務時間を7時間30分とするなど、勤務時間をフルタイム会計年度任用職員よりもわずかに短く設定しても、差し支えないか。

- 会計年度任用職員の任用に当たっては、職務の内容や標準的な職務の量に応じた適切な勤務時間を設定することが必要である。
- また、単に勤務条件の確保等に伴う財政上の制約を理由として、合理的な理由なく短い勤務時間を設定し、フルタイムでの任用について抑制を図ることは、適正な任用・勤務条件の確保という改正法の趣旨に沿わないものである。
- こうしたことから、パートタイム会計年度任用職員として位置づけること自体を目的として、例えば、勤務時間をフルタイム会計年度任用職員よりも一日当たり15分間短くするなど、わずかに短く設定することは適切ではない。

総務省通知 Q&A



Q 毎年支援を取り上げてきた東日本大震災は、震災から10年を迎えるが本市の取組みはどうか。

A 議員からの提案を受け、東日本大震災の記憶を風化させない取組みとして、昨年3月に市役所や総合事務所、市民病院のモニターディスプレイで、「東日本大震災を忘れない」というメッセージを掲示している。この他、今年中央図書館で3月14日まで、東日本大震災の特設展示を行っている。

Q 昨年、仙台天文館が作成した東日本大震災関連のプラネタリウム番組の映写を、青年の家で行うよう提案していたが状況はどうか。

A コロナ禍で調整が思うようにいかなかったため、令和3年度へ向けて引き続き協議を進めていきたい。

被災者の生の声が心を育てる！

Q 山口市の中学校や光市の小学校で石巻市の被災者が講演するオンライン授業が行われたが、オンラインを進める本市で、同様の取組みができないか。

A 児童生徒の防災意識および学習や訓練の効果を高めるためには、実際に被災した方の生の声を聞くことは、児童生徒の心に印象深く刻まれ、大変効果的であると考えているので、有効な指導法の一つとして学校にも周知していく。

3.11を絶対に忘れない

【今回の一般質問】
・東日本大震災他被災地支援
・藤田市長の公約
・子育て支援 ほか



吉永美子議員

震災の記憶



6次産業への 取組みを積極的に

【今回の一般質問】

- ・6次産業
- ・厚狭駅南部地区まちづくり
- ・協創によるまちづくり

6次産業

Q 農業政策の現状はどうか。

A 令和元年度から新規就農者に対する市独自の補助事業、新規就農者支援事業を創設し、令和2年度からは施設等の整備に必要な経費を補助する担い手支援事業を創設した。今後も国や県の支援事業と併せて1次産業の維持、拡充に努めたい。

Q もうかる1次産業にするために必要なシステムは何か。

A 生産するだけではなく、6次産業化や農業、商業、工業、それぞれが持ち寄って産物を作る農商工連携など、関係機関と連携しながらブランド化等、所得向上につながる情報提供を行いたい。

6次産業に向けての戦略

Q 6次産業に向けて国も県も、近隣他市も推進を図るためにさまざまな戦略を進めている。山陽小野田市は制度化、事業化になぜ取り組まないのか。

A 農・商・工の連携不足が原因で特に農業は、作ってそのままを市場に出すというような流れが固定していた関係で、6次産業化が進まなかった。これからは6次産業化であろうと思う。1次産業は厳しい状況にある中で、知恵を出し、先行事例もあり研究をして、本市に合った形の6次産業を目指したい。



まちづくり

Q 高齢者は買い物や通院するための移動が困難になりやすい。住み慣れた地域に住み続けられるようにどのような公共交通手段を考えているのか。

A 厚狭北部ではデマンド型乗合タクシーを運行している。利用者が高齢のため、施設入所や外出自粛等で利用者は減少傾向である。新たな地区への導入は、既存路線バスの運行下では困難である。

高齢者の通院・買い物を便利に

Q 市南部の赤崎・本山地区の路線バス運行は、利用しづらい状況である。赤崎は笹尾、雀田駅経由のバス路線はなく不便である。特に本山地区は不便で、高齢者が小野田赤十字病院へ行くのに困っているがどうか。

A 本山地区から小野田赤十字病院に直接行けるバス路線はなく、遠回りで途中乗り換えが必要となる。現在、バス結節点の見直しを進めているところであり検討したい。

Q 高齢者の運転免許証返納を促進しているが返納が進むような市独自の施策は進んでいるのか。

A 運転免許証の返納率は、65歳以上は2.7%、75歳以上は6%である。返納しやすい環境整備が必要であるが、有効な事業計画には現在のところ至っていない。

真に高齢者に優しいまちづくりとは

【今回の一般質問】

- ・教育環境
- ・地域高齢化社会への対策
- ・公共施設の木造化等の方針



なかむらひるゆき
中村博行議員



再犯防止は喫緊の課題

【今回の一般質問】

- ・更生保護行政
- ・ニュートリアの駆除対策
- ・猟友会への支援強化

更生保護行政

Q 刑法犯罪は減少しているが、再犯率は上昇している。再犯防止条例を制定する考えはあるか。

A 「再犯防止等の推進に関する法律」が施行され、地方自治体に対して地方再犯防止計画を策定するよう努力義務が課された。本市も、令和3年度中に計画策定委員会を設置し、再犯防止推進計画を策定する予定である。現時点で条例制定までは考えていない。

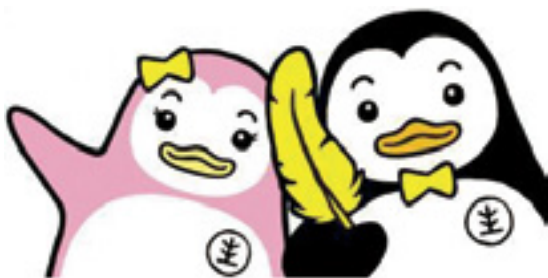
Q 再犯防止のため、保護観察処分が解除された少年を市の会計年度任用職員に採用する検討は進んでいるか。

A 就労支援や雇用の確保は重要という認識は持っているが、さまざまな課題があり、現時点では困難である。

入札が総合評価方式に

Q 入札について、総合評価方式導入の検討は進んでいるか。

A 山口県や他市の状況を踏まえて検討した結果、企業の地域貢献度の評価項目を追加し、その項目の一つとして更生保護協力事業所の登録を考えている。県の審査委員会での意見聴取も終え、入札方式の改正が適切との報告を受けたので、令和3年度から総合評価方式が導入できるよう手続きを進めている。



レーダー建設

Q 宇宙監視レーダー建設に反対する市民の会が立ち上がった。レーダー電磁波により市民の人体への影響も心配される。藤田市長は市民の安全が確保されるまで、建設反対を表明すべきではないのか。

A レーダー施設の整備は市としての政策ではなく、国の防衛政策であることから、意見を述べる立場にはない。市民の不安を解消する説明会を開催するようお願いしている。

Q レーダー電磁波が人体に影響があるとされている。市としても研究や独自の調査が必要ではないのか。

A 現在、防衛省が電波防護指針の通りに設計している。実施設計が仕上がるのを待って基準の数値に収まるのかどうかを確認していきたい。

市民の安心安全を

Q 萩市と秋田市に計画されていたイージス・アショアでは、防衛省が発表したデータに間違いが多く、計画そのものがなくなった。防衛省の発表をうのみにするのは危険だ。市長として市民の安心安全をどう考えているのか。

A 設計どおりに建設され、数値で理解できるよう防衛省からの説明の段取りを進めているところである。

市長は宇宙監視レーダーに反対を

【今回の一般質問】

- ・藤田市政4年間の総括



やまだのぶゆき
山田伸幸議員



農業を担っていく世代のために

【今回の一般質問】
・農業政策

農業支援措置

Q 農地中間管理事業の推進に関する法律の改正により、人・農地プランの実質化に向け取り組むこととしたが、現状と今後の取組みはどうか。

A 現在 17 の地区に分けてプランを作成している。プランを見ると、設定地域が広範囲であったり、プラン内容が現状と異なる地区があったりする。今後、計画的にアンケートを実施し、集計したものを地図化し、地域での話し合いを通じて実質化に向けて取り組んでいく。

実質化に取組み支援措置を活用

Q 人・農地プランの実質化に連携する国の支援措置があるが、プランの実質化に向けた取組みをしないと、地区や人に対する支援措置が受けられないのか。

A 現時点で実質化されてない地区でも、工程表を作成しているため、支援措置が受けられる。

Q 人・農地プランの実質化に向けて、本市はこのプランを検討する委員会を設置しているか。

A プラン検討委員会は設置しており、構成員は 12 名で、生産者団体等の役員、山口県農協山陽小野田営農センター、県美祢農林水産事務所、市農業委員会、農林水産課である。



認定農業者が耕作放棄地を経営



Q 他市町では防災減災、観光、市民サービスの向上に向けて Wi-Fi 環境の整備が進む中、本市の公共施設への整備状況はどうか。

A これまで検討はしていたが、本市では公共施設の Wi-Fi 環境の整備には至っていない。

Q なぜ今まで整備できなかったのか。

A 防災、観光等を目的とした公衆無線 LAN、Wi-Fi 整備の必要性は認識しつつも、庁内で優位性を踏まえた協議の横展開ができなかった。それぞれの個別の目的に応じた事業としての視点から、費用対効果の点で、事業推進の優先度がこれまで上がらなかった。

Wi-Fi 環境は生活インフラの一つ

Q Wi-Fi 環境の導入予定はあるのか。

A 昨今、地方公共団体が市民サービスの向上に向け Wi-Fi を整備し活用する度合いが増し、国もスマート自治体の推進をしている中、今後さらに費用対効果がより向上し、Wi-Fi 運用の持続性確保の点で効果が期待されると考えている。本市ではデジタル化の推進に力を傾注するため、所管の組織を充実させ、複合的な目的を持つ Wi-Fi 環境の整備について全庁体制で令和 3 年度から積極的に協議を進めていく。

公共施設に Wi-Fi 環境を

【今回の一般質問】

- ・ Wi-Fi 環境の整備状況
- ・ 災害時の Wi-Fi 環境の必要性
- ・ Wi-Fi を活用したまちづくり



大井淳一朗議員
おおいしゆんいちろう



にぎわい創出につながる施設に

【今回の一般質問】

- ・きらら交流館の在り方
- ・職員の働き方改革
- ・まちの魅力発信

交流館再編

Q きらら交流館再整備の検討状況はどのようなのか。

A 入浴施設の給湯設備が更新時期を迎えるなど、老朽化への対応を含めた施設の今後の在り方を検討している。観光交流施設としての側面が強いことや多様化する利用者ニーズを受けて、新しいコンセプトの下で再整備の検討を行うこととした。令和5年度から設計・工事が始まり、早ければ令和7年度に供用開始を想定している。

Q 新たなコンセプトとは何を意味するのか。

A ①スマイルエイジング ②道の駅等の観光交流拠点 ③地域資源を生かした交流人口の増加およびにぎわいの創出 ④その他市の課題解決につながるものである。

観光は点ではなく面で捉えるべき

Q きららガラス未来館や竜王山オートキャンプ場などの周辺施設とどのように融合させていくのか。

A 交流館周辺は、焼野海岸やくぐり岩も含め市内外から多くの方が訪れるスポットが集まる、観光面においてポテンシャルの高いエリアである。今後も周辺のさまざまな地域資源を生かした取組みの可能性について調査分析することとしており、再整備によって一体的なにぎわいが創出されることを期待している。



きらら交流館



緊急避難場所

Q 避難場所・避難所は場所により、高低、広狭の違いがあるが、どのように設置するのか。

A 緊急避難場所は、洪水、がけ崩れ、土石流、地滑り、高潮、地震、津波、大規模な火事などが発生した場合、人の生命または身体に危険が及ぶおそれがないと認められる場所であること。避難所の指定も基準が定められており、避難者等を滞在させるために適切な規模であり、速やかに避難者等を受け入れられる施設であることと定められている。

避難所の事前対策は大丈夫か

Q 避難所開設・運営マニュアルには、避難者の感染対策が十分に盛り込まれているか。

A 運営マニュアルについては、昨年9月に改定し、受付時の検温、体調確認の実施、消毒液の設置、避難者ごとに2メートル程度の間隔を確保するなどの感染症対策を追加した。

Q 災害物資等供給応援体制は、どの程度整備されているか。

A 避難所における物資の調達から食料、生活必需品の供給、災害発生時における段ボール製品の調達など、災害に必要な項目について、各関係機関と事前に56の協定を締結している。

今の避難場所・避難所で大丈夫か

【今回の一般質問】

- ・避難所の事前対策
- ・きららビーチ焼野運用状況



岡山明議員
おかやまあきら



活気を感じる まちとは

【今回の一般質問】

- ・ 防災・減災対策
- ・ 協創によるまちづくり

市民活動

Q スマイルプランナー制度をはじめとする市民活動の活性化によるまちづくりの取組みはどうか。

A 本制度開始から3年が経過し、個人で200名、団体で50の登録がある。今後は、登録者同士の連携・情報共有の機会設定やFM局の活用の検討も図りたい。

Q 公共的団体をはじめとする各団体と、どのように具体的な活動を進め、「スマイルシティ」としての効果을上げようとしているのか。

A 多様な主体がまちづくりに参画できる仕組みをはじめ、地域、人、まちの価値を創る目標から今後、市民の皆さんと地域づくりを進めていきたい。

スマイルエイジングの発展策

Q スマイルエイジング野外版と言える運動器具が須恵健康公園に設置されたが、他の公園等の活用を含め、今後の展開策はどうか。

A 市の出前講座に健康遊具の使い方教室をはじめ、継続使用による効果の内容も含めたい。目標の健康寿命の延伸につながるものとして特化したスマイルエイジングパーク事業と位置づけ、さらに特色のある取組みとして継続的にこれから考えていきたい。



Q 本市には「すげえちゃ・高泊」と「出会いちょうクラブ」の2つの総合型地域スポーツクラブがあるが、他地域ではクラブの設立が進まない。その対策はどうか。

A 指導者や事務局の役割を担う人材の確保が難しいため、設立が進まない。総合型地域スポーツクラブの目的や活動を市民に広く周知し、積極的な働き掛けを行っていく。

Q 山口県総合型地域スポーツクラブ認定システムが開始されるが、どのような効果があるか。

A スポーツを通じた地域の発展を目的として活動する団体を山口県総合型地域スポーツクラブとして認定することで、クラブの認知度および信頼性を高めるとともに一層の発展を図る。

学校の部活動に地域の協力を

Q 「学校の部活動における教師の負担軽減に加え、地域人材の協力を得て、生徒にとって望ましい部活動の実現を図る」という国からの通知が各自治体にあったが、本市の取組みはどうか。

A 部活動は、生徒の心と体を鍛える有効な手段であるが、教職員の働き方改革が進まない原因の一つである。部活動指導に地域人材の協力を得るため、関係機関と連携し、部活動指導員の配置を検討する。

スポーツによる 地域づくり

【今回の一般質問】

- ・ スポーツによるまちづくり
- ・ 2040年問題への取組み



かわのともこ
河野朋子議員



藤田市政の検証と次期の目標は

【今回の一般質問】
・藤田市政 4 年間の検証
・今後の厳しい財政状況

藤田市政

Q 市長は職員のモチベーションを上げるために、具体的にどのような組織運営を行ってきたのか。

A 市役所全体でよいチームをつくるため、組織運営を考える上で重要な役割である課長に対して、年度当初に新任課長研修を行い、課長としての心構えについて、私から直接伝えてきた。

Q 自治基本条例に掲げる「市民が主役のまちづくり」をどのように実現してきたのか。

A スマイルプランナー制度を創設し、現在、協創によるまちづくり推進指針を策定中である。協創の理念の下で「誰もが主役のまちづくりの実現」に向け取組みを強化していきたい。

具体的達成度と目標を

Q 市民が何をもちてこの市長に付託したいかということの判断基準の一つとして、これまでの達成度を市民に示し、2 期目に向けての目標をもっと具体的に示すことが必要ではないか。

A この4年間の経験から、1人の考え方だけで具体策を示すこと自体に若干の疑問を持った。2期目の公約である3つの「創る」の肉づけは、職員、市民と情報共有する中で最終決定をしていきたい。



市長 2 期目の公約

厚狭駅南部地区を流れる桜川



桜川水害対策

Q 厚狭小学校や厚狭高校へ行く道路は狭くて大変危険である。厚狭新橋から国道316号に向けて、新しい道路を整備するべきではないか。

A 厚狭新橋から西側の市道について整備が完了した後に、厚狭新橋から国道316号に向けての道路整備を検討していく。

Q 厚狭駅は海拔も高く、建物が強固で火災にも強い。厚狭駅周辺住民や保育園児のためにも、厚狭駅全体を避難場所にするべきではないか。

A 緊急避難場所に指定しているところが、本当に最適なのか、変更するべきなのかを検討している。厚狭駅を避難場所にすることを進めていきたいと考えている。

桜川の水害対策に早急に取り組み！

Q 厚狭駅周辺のまちづくりを進めるのに取り急ぎ対応すべきことは、桜川の水害対策である。早急に取り組むべきではないか。

A 厚狭駅南部地区のまちづくりには桜川を生かすことが大切である。桜川の管理者である山口県に対して桜川の重要性や水害の被害軽減などの対応をしっかりと要望していく。

厚狭駅周辺の発展は本市の生命線

【今回の一般質問】
・厚狭駅周辺のまちづくり



みやもとまさし
宮本政志議員

◎賛否の分かれた議案の議決結果



3月定例会で議案等47件を審議し、そのうち賛否の分かれた議案の議決結果11件を掲載しています。そのほかについては、全員賛成で可決しました。全議案の議決結果は、市議会ホームページに掲載しています。

令和3年3月定例会	議決結果	議員名																						
		伊場勇	大井淳一朗	岡山明	奥良秀	河崎平男	河野朋子	笹木慶之	水津治	杉本保喜	高松秀樹	恒松恵子	中岡英二	中村博行	長谷川知司	藤岡修美	松尾数則	宮本政志	森山喜久	矢田松夫	山田伸幸	吉永美子	小野泰	
令和3年度山陽小野田市一般会計予算について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	/
令和3年度山陽小野田市国民健康保険特別会計予算について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	/
令和3年度山陽小野田市介護保険特別会計予算について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	/
令和3年度山陽小野田市後期高齢者医療特別会計予算について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	/
令和3年度山陽小野田市小型自動車競走事業特別会計予算について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	/
令和3年度山陽小野田市水道事業会計予算について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	/
令和3年度山陽小野田市下水道事業会計予算について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	/
山陽小野田市山陽消防署植生出張所建設基金条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	/
山陽小野田市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	/
山陽小野田市地方卸売市場条例を廃止する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	/
山陽小野田市地方卸売市場事業特別会計条例を廃止する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	/

◆表の見方◆

○：賛成 ×：反対 —：棄権又は欠席 ・小野泰議員は議長であるため賛否の結果はありません。

◎市議会モニターにアンケート調査を実施しました



市議会モニターに市議会の運営・活動について、広聴特別委員会がアンケート調査を行いました。御意見は今後の参考にさせていただきます。

回答結果は、市議会ホームページに掲載しています。

こちらからご覧いただけます →



- ・回答期間：令和3年2月～3月
- ・調査内容：議会だより、市議会ホームページ、市議会フェイスブックおよび議会報告会（議会カフェ）

◆ インターン学生の声 ◆

3人の議員が下関市立大学の学生8人のインターンシップを受け入れ、約2か月間、議会傍聴や地域活動に参加してもらいました。

◆市議会議員に対するイメージ

テレビで見るとお堅いイメージでしたが、実際は市民との関わりが多くあり、思っていたより身近に感じました。

◆本会議を傍聴した感想

本会議場はテレビで見るとような景色で少し緊張しました。知らない言葉があり、理解が難しかったです。

◆委員会を傍聴した感想

各課の職員がたくさん出席して委員会を行うことが印象的でした。少ない人数の議員で予算などを決めていることに驚くとともに、議員の責任の重さを身に染みて感じました。

◆議員に期待すること

全国的にも少子高齢化が問題となっています。子どもを産みやすく育てやすい地域づくり、環境づくりをお願いします。

◆今後、政治にどう関わりたいか

メディアを活用して選挙に参加したいと思います。若者の投票率を上げるためにどうしたらよいか考えていきたいです。



← 議会図書室の見学

お知らせ

6月定例会会期日程(予定)

本会議の日程

6月定例会の日程(案)をお知らせします。会期日程は、諸事情により変更される場合があります。ご了承ください。

月 日	本会議
5月20日(木)	議案上程・説明
5月28日(金)	質疑・討論・採決
6月2日(水)	代表質問
6月3日(木)	一般質問
6月4日(金)	一般質問
6月7日(月)	一般質問
6月10日(木)	一般質問
6月15日(火)	質疑・討論・採決

編集室より



時候の挨拶に使用される言葉に“薫風”がありますが、まさしく風に夏の薫りが感じられる、過ごしやすい季節になりました。

しかし、新型コロナウイルス感染症の終息はまだまだ見えていません。ワクチン接種は進んでいますが、まだまだ集団免疫が得られる環境ではなさそうです。これからも3密を避け、感染予防に気を配る日常が続きます。

◎広報特別委員会

委員長 山田伸幸 副委員長 恒松恵子
 委員 大井淳一郎 委員 岡山明
 委員 河崎平男 委員 河野朋子
 委員 笹木慶之 委員 藤岡修美
 委員 松尾数則

《表紙の説明》 殿町児童公園に静態保存されているD51300。かつては腐食が激しく「おばけ列車」と呼ばれていましたが、平成26年に全国から集まったボランティアの力によって見事に修復されました。現在も保存会が定期的にメンテナンスしています。